

倶多楽の火山活動解説資料（平成 20 年 10 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- 地震活動（図 2、表 1）
今期間発生した火山性地震は 2 回で、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

- 熱活動（図 3～7）
21日に室蘭地方気象台が現地調査を実施しました。日和山山頂部の噴気孔の最高温度は132℃（前回2008年4月：134℃）で変化はありませんでした。この他、大正地獄、地獄谷爆裂火口、及び大湯沼の状況にも変化はありませんでした。
2007年5月3日から大正地獄で発生しているごく小規模な泥混じりの熱湯の噴出は、その後も消長を繰り返しながら継続しています（登別市による）。これらの現象は局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

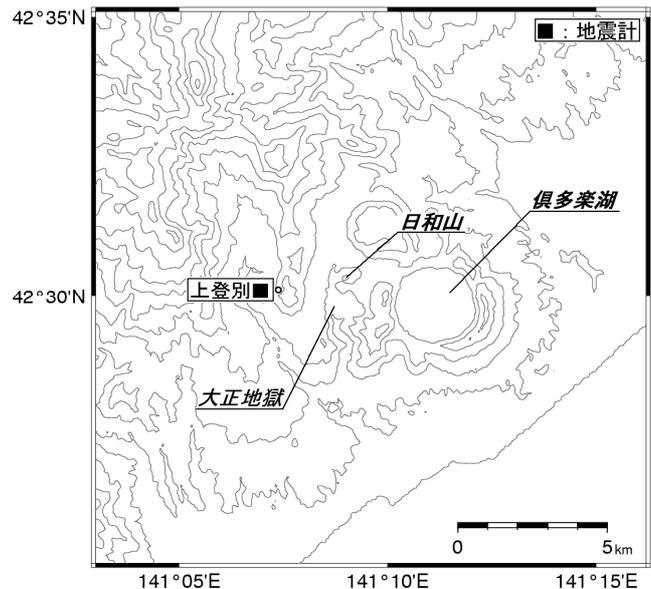


図 1 倶多楽 地震計配置図

表 1 倶多楽 地震・微動の月回数（図 1 の上登別）

2007～2008 年	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
地震回数	0	4	1	4	1	0	1	2	1	0	0	2
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

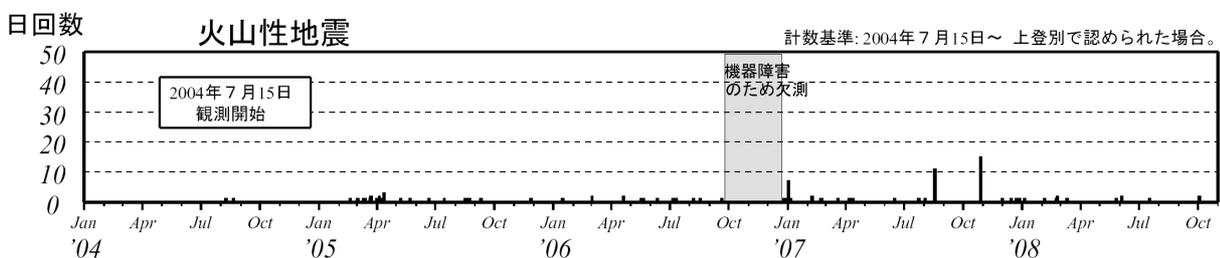


図 2 倶多楽 日別地震回数（2004 年 7 月～2008 年 10 月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.sapporo-jma.go.jp>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 11 月分）は平成 20 年 12 月 5 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

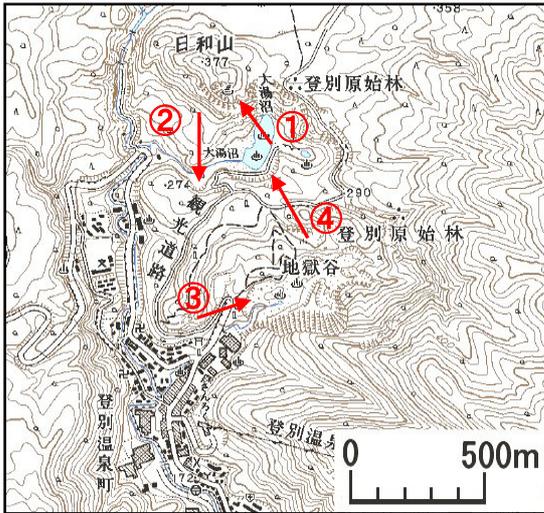


図3 倶多楽 火口周辺図



図4 倶多楽 日利山山頂部の噴気の状態
(2008年10月21日 図3 ①方向から撮影)



図5 倶多楽 大正地獄の状況
(2008年10月21日 図3 ②方向から撮影)



図6 倶多楽 地獄谷爆裂火口の状況
(2008年10月21日 図3 ③方向から撮影)



図7 倶多楽 大湯沼の状況 (2008年10月21日 図3 ④方向より撮影)

・ 日利山、地獄谷爆裂火口、大正地獄及び大湯沼の状況に変化はありませんでした。